

2023年8月5日(土) - 11月19日(日)

世田谷美術館 2階展示室

ミュージアムコレクションII

雑誌にみるカットの世界 『世界』(岩波書店)と『暮らしの手帖』(暮らしの手帖社)

※『暮らしの手帖』表紙原画の展示替えを予定しています。

前期展示: 8月5日(土) - 9月16日(土)

後期展示: 9月17日(日) - 11月19日(日)

『世界』

## ●『世界』のあゆみ(1946年~1995年)

## 第一期 1946年~1950年 戦後改革

No.	種別	『世界』号数						備考
1	目次パネル	『世界』1946年1月号						
2	目次パネル	『世界』1946年5月号						
3	目次パネル	『世界』1946年6月号 (カット: 中川一政)						
4	目次パネル	『世界』1947年3月号						
5	目次パネル	『世界』1948年3月号 (カット: 富本憲吉)						
No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考
6	カット原画	中川一政	上段左	1946年6月号	目次・扉		墨	
7			上段左から右へ	1946年9月号 ほか	70頁	柳田國男「流鶯隨筆」	墨	
8			上段左から右へ、下へ	1946年4月号 ほか	73頁	中川一政「これから」	墨	
9			上段右	1949年5月号	目次		鉛筆	
10			下段左	1946年5月号	140頁	高見順「妖怪」	墨	
11			下段左から2番目	1950年2月号 ほか	目次		墨	
No.	種別	作者名	作品名	制作年			技法・材質	備考
12	絵画	中川一政	三色董	制作年不詳			紙本着色	
No.	種別	『世界』号数						備考
13	目次パネル	『世界』1950年3月号 (カット: 伊勢正義)						
14	目次パネル	『世界』1950年12月号						
No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考
15	カット原画	富本憲吉	上段左、左	1949年1月号 ほか	56頁	瀧澤歌一「自由のホー—フランス通信—」	ペン、インク	
16			上段左、右	1948年3月号	目次		ペン、インク	
17			上段右、上	1947年11月号	1頁	服部之総「日本史的世界と世界史的日本—本格的絶対主義と初期絶対主義についてのスケッチ—」	ペン、インク	
18			上段右、右下	1948年3月号	15頁	川崎巳三郎「産業合理化」とそれにつづくもの	ペン、インク	
19			上段右、右下	1948年3月号	24頁	鈴木武雄「財政の金融化と金融の財政化—二十二年度追加予算の分析を中心として—」	ペン、インク	
20		曾宮一念	下段左、左	1948年4月号	目次		鉛筆	
21			下段左、右	1948年11月号	9頁	渡部義通「津田史學の特質と現代的意義」	鉛筆	
22		伊勢正義	下段右、上	1950年3月号	目次		墨、鉛筆、ペン、インク	
23			下段右、下	1950年11月号	目次		墨、ペン、インク	
第二期 1951年~1960年 講和から六〇年安保								
No.	種別	『世界』号数						備考
24	目次パネル	『世界』1951年10月号 (カット: 中村研一)						
25	目次パネル	『世界』1953年11月号 (カット: 岡鹿之助)						
No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考
26	カット原画	中村研一	上段左	1960年3月号	目次		墨、ペン、墨	
27		碓伊之助	上段右	1952年5月号	目次		ペン、インク	
28		岡鹿之助	下段	1953年11月号	目次		ペン、インク、墨	
No.	種別	『世界』号数						備考
29	目次パネル	『世界』1957年1月号 (カット: 中村岳陵)						
30	目次パネル	『世界』1958年1月号 (カット: 山口蓬春)						
No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考
31	カット原画	中村岳陵	上段	1957年1月号	目次		墨	
32		山口蓬春	下段	1958年1月号	目次		墨、顔彩	
No.	種別	『世界』号数						備考
33	目次パネル	『世界』1958年7月号 (カット: 石川滋彦)						
34	目次パネル	『世界』1960年12月号 (カット: 福田豊四郎)						
No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考
35	カット原画	石川滋彦	上段	1958年7月号	目次		水彩、ペン、インク、クレヨン	
36		福田豊四郎	下段	1960年12月号	目次		墨、ペン、インク、箔、ホワイト	
第三期 1961年~1975年 高度成長・ベトナム戦争・沖縄								
No.	種別	『世界』号数						備考
37	目次パネル	『世界』1962年12月号 (カット: 石川滋彦)						
38	目次パネル	『世界』1963年10月号 (カット: 石川滋彦)						
No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考
39	カット原画	石川滋彦	上段	1962年12月号	目次		チャコールペンスシル、水彩	
40		石川滋彦	下段	1963年10月号	目次		水彩、墨	
No.	種別	『世界』号数						備考
41	目次パネル	『世界』1966年3月号 (カット: 荻太郎)						
42	目次パネル	『世界』1966年11月号 (カット: 朝倉摂)						
No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考
43	カット原画	荻太郎	上段	1966年3月号	目次		墨	
44		朝倉摂	下段	1966年11月号	目次		墨、スクリーントーン、ペン、インク	
No.	種別	『世界』号数						備考
45	目次パネル	『世界』1968年9月号 (カット: 池田満寿夫)						
46	目次パネル	『世界』1971年7月号 (カット: 脇田和)						

No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考	
47	カット原画	池田満寿夫	上段	1968年9月号	目次		コラージュ、墨、ペン、インク、インスタントレタリング		
48		脇田和	下段	1971年7月号	目次		墨、油彩		
<b>第四期 1976年～1995年 核戦争の危機からポスト冷戦へ</b>									
No.	種別	『世界』号数							備考
49	目次パネル	『世界』1976年1月号 (カット：小磯良平)							
50	目次パネル	『世界』1976年2月号 (カット：宇佐美圭司)							
No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考	
51	カット原画	小磯良平	上段	1976年1月号	目次		鉛筆		
52		宇佐美圭司	下段	1976年2月号	目次		鉛筆、色鉛筆		
No.	種別	『世界』号数							備考
53	目次パネル	『世界』1977年7月号 (カット：加納光於)							
54	目次パネル	『世界』1983年9月号 (カット：堂本尚郎)							
No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考	
55	カット原画	加納光於	上段	1977年7月号	目次		エッチング、鉛筆		
56		堂本尚郎	下段	1983年9月号	目次		リトグラフ		
No.	種別	『世界』号数							備考
57	目次パネル	『世界』1986年1月号 (カット：加納光於)							
58	目次パネル	『世界』1992年11月号 (カット：関根伸夫)							
No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考	
59	カット原画	加納光於	上段	1986年1月号	目次		エンコスティック		
60		関根伸夫	下段	1992年11月号	目次		墨、ペン、インク		
<b>関連書籍</b>									
No.	種別	作者名	資料名	発行年	発行元	所蔵			
61	資料	—	世界 創刊号	1946年	岩波書店	世田谷文学館			
62	資料	志賀直哉	灰色の月	1948年	細川書店	世田谷文学館			
63	資料	野上弥生子	迷路 第三巻・第四巻・第五巻・第六巻	1952-56年	岩波書店	世田谷文学館			
64	資料	安部公房	第四間氷期	1959年	講談社	世田谷文学館			
65	資料	廣津和郎	松川事件と裁判	1964年	岩波書店				
66	資料	大江健三郎	ヒロシマ・ノート	1965年	岩波書店				
67	資料	吉野源三郎	君たちはどう生きるか	1969年 (初版は1937年)	新潮社				
68	資料	大江健三郎	沖繩ノート	1970年	岩波書店				
69	資料	T・K生著、「世界」編集部編	韓国からの通信 ー1972.11～1974.6ー	1974年	岩波書店				
70	資料	—	『世界』総目次 1946年1月～1975年12月 第1号～第361号 執筆者別索引付	1975年	岩波書店				
71	資料	大江健三郎、山口昌男、中村雄二郎 編	叢書 文化の現在 全13巻	1980-82年	岩波書店				
72	資料	対談 大江健三郎、安江良介	『世界』の40年 戦後を見直す、そして、いま	1984年	岩波書店				
73	資料	磯崎新、大江健三郎、大岡信、武満徹、中村雄二郎、山口昌男 編	へるめす 創刊号	1984年	岩波書店	世田谷文学館			
74	資料	瑞作楽	岩波物語	1990年	審美社	個人蔵			
75	資料	井出孫六、伊東光晴、井上ひさし、河合秀和、篠原一、中村雄二郎、樋口陽一、山住正己 編	『世界』主要論文選 1946-1995	1995年	岩波書店				
76	資料	吉野源三郎	平和への意志 『世界』編集後記1946-55年	1995年	岩波書店				
77	資料	田村義也	ゆの字ものがたり	2007年	新宿書房				
<b>グラビア頁資料</b>									
No.	種別	作者名	資料名	掲載号／発行日	所蔵				
78	資料	土門拳	「弘仁彫刻」より 雑誌グラビア印刷の色調見本としてのオリジナルプリント	『世界』1965年6月号 掲載	岩波書店保管資料				
79	資料	土門拳	「弘仁彫刻」より 雑誌グラビアのレイアウト指定 (オリジナルプリントを貼付け、自筆指定したもの)	『世界』1965年6月号 掲載	岩波書店保管資料				
80	資料	木村伊兵衛	「中国の表情」より モノクロオリジナルプリント	『世界』1964年4月号 掲載	岩波書店保管資料				
81	資料	奈良原一高	「アンダルシアの昼と夜」より モノクロオリジナルプリント	『世界』1966年1月号 掲載	岩波書店保管資料				
82	資料	—	『世界』1966年1月号	1966年1月1日	岩波書店保管資料				
83	資料	土門拳	写真パネル 「『世界』を育てた人々」より「岩波書店にて」(部分) (左から)渡邊一夫、杉捷夫、河盛好蔵、都留重人、清水幾太郎、久野収、戒能通孝、武田清子、鶴岡信成、日高六郎	『世界』1954年4月号 (第100号) 掲載	提供：土門拳記念館				
<b>●『世界』 作家別カット原画紹介</b>									
No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考	
84	カット原画	中村岳陵	左上段	1953年9月号	扉		墨		
85			左下段	1953年9月号	197頁	山代巴「おかねさん (三)」	墨		
86			右	1956年5月号	262頁	正宗白鳥「新聞記者時代—一回録—」	墨、ペン、墨		
87	カット原画	佐藤忠良	左	1956年8月号	110頁	伊藤好道、岡田春夫、志賀義雄、猪木正道、清水慎三「日本における社会民主主義と共産主義」	墨		
88			左から2番目	1956年8月号	240頁	奥野信太郎「京劇の発展と梅蘭芳」	墨		
No.	種別	作者名	作品名	制作年	技法・材質	備考			
89	彫刻	佐藤忠良	二歳 (小)	1972年	ブロンズ				
90	彫刻	佐藤忠良	ゆみ	1987年	ブロンズ				
No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考	
91	カット原画	斎藤義重	上段左	1963年12月号	32頁	京極純一「国民の選択—誰が、何を、いかに—」	墨		
92			上段左から2番目	1963年12月号	137頁	金田一京助「ヤエ・パチエラーの悲しみ」	墨		
93			上段左から3番目	1971年4月号	217頁	笹本駿二「L'EUROPE SENTIMENTALE (五)」	スクリーントーン、ペン、墨		
94			上段左から4番目	1971年4月号	104頁	田村三郎「毒ガス移送の「安全性」—沖繩の毒ガス兵器撤去作業に立会って—」	コラージュ、スクリーントーン、ペン、墨		
95			中段左	1972年1月号	扉		墨、スクリーントーン、コラージュ		
96			中段左から2番目	1972年1月号	150頁	ポール・A・サムエルソン、都留重人、宇沢弘文「〈座談会〉ニクソン新経済政策と日本」	墨、コラージュ、ペン、インク		
97			中段左から3番目	1976年8月号	304頁	黒井千次「民話と電話と半市民」	墨、ペン、墨、コラージュ		
98			中段左から4番目	1976年8月号	184頁	山口定「状況への診断—保守独裁体制の崩壊期に直面して—」	墨、ペン、墨		
99			中段左から5番目	1976年8月号	94頁	平井友義「〈中ソの外交と第三世界〉社会主義モデルの多元化とソ連」	墨、ペン、墨		

No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考
100	カット原画	斎藤義重	下段左	1983年1月号	目次(部分)		コラージュ	
101			下段左から2番目	1984年1月号	131頁	杉原泰雄「政治責任と刑事責任・再論」	コラージュ、フェルトペン、鉛筆	
102			下段左から3番目	1984年1月号	扉		コラージュ、ペン、インク、フェルトペン、鉛筆	
103	カット原画	駒井哲郎	上段左	1961年1月号	63頁	カ石定一「景気循環の現局面と世界経済」	墨、ペン、墨	
104			上段左から2番目	1961年1月号	202頁	「世界の潮」	ペン、インク	
105			下段左	1963年7月号	230頁	廣津和郎「検察官の論理(九)——検察官の松川上告趣意書を読む——」	ペン、墨	
106			下段左から2番目	1963年7月号	84頁	宮崎勇「軍縮の経済学——研究を進めるためのノート——」	墨、ペン、墨	
107			下段左から3番目	1963年7月号	244頁	湯浅芳子「『桜の園余話』を読んで」	墨	
108	カット原画	駒井哲郎	上段左	1964年7月号	262頁	石川淳「靴みがきの一日」	墨、ペン、墨	
109			上段左から2番目	1964年7月号	12頁	「世界の潮」	墨、ペン、墨	
110			下段左	1961年9月号	30頁	西春彦「軍縮と大国——小国の訴え——」	ペン、インク	
111			下段左から2番目	1966年2月号	58頁	マイケル・ムンク「アメリカの新左翼(ニュー・レフト)」	墨	
112			下段左から3番目	1976年1月号	57頁	宮本憲一「環境問題の戦後——環境権の獲得と自立的文化の創造を——」	モノタイプ	
No.	種別	作者名	作品名	制作年	技法・材質	備考		
113	版画	駒井哲郎	窓(Fenêtre)	制作年不詳	モノタイプ			
No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考
114	カット原画	小林古径	左	1956年8月号	217頁	村田省蔵「比島一夕話——太平洋戦争前後——」	墨	
115		山口蓬春	右	1957年11月号	220頁	村山知義「中国の演劇について——形式と内容と——」	墨、顔彩	
116	カット原画	棟方志功	上段左	1952年10月号	226頁	山本慶一「再軍備経済に潤うもの」	拓摺り	
117			上段左から2番目	1952年9月号	37頁	城戸又一「フランスの保守派」	拓摺り	
118			下段左	1952年9月号	44頁	高村明「アメリカの保守主義——大統領選挙をめぐる——」	拓摺り	
119			下段左から2番目	1952年9月号	32頁	中野好夫「イギリスの保守主義」	拓摺り	
120			下段左から3番目	1952年9月号	52頁	木下半治「日本の保守主義」	拓摺り	
121	カット原画	利根山光人	上段左	1967年4月号	209頁	アンドルー・ロス「〈ロンドン通信〉ロンドンのコスイギン」	墨、ペン、墨、ホワイト	
122			上段左から2番目	1967年4月号	扉		墨、ペン、墨、ホワイト	
123			上段左から3番目	1967年4月号	244頁	菅井汲「〈口絵解説・作者の言葉〉強い意志が美しさを創る」	墨、ペン、墨	
124			下段左	1985年4月号	74頁	進藤榮一「『膨張主義』論の中のソ連外交——イデオロギー・軍事力・戦略——」	墨、ペン、墨、鉛筆、ホワイト	
125			下段左から2番目	1985年4月号	扉		墨、ペン、墨、鉛筆	
126			下段左から3番目	1987年7月号	63頁	村上吉男「激化するジャパン・バッシング」	鉛筆、墨、ペン、墨、ホワイト	
127			下段左から4番目	1987年7月号	153頁	平出隆「ベープ・ルースの足」	墨、ペン、墨、鉛筆、ホワイト	
No.	種別	作者名	作品名	制作年	技法・材質	備考		
128	版画	利根山光人	よる	1956年	リトグラフ			
No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考
129	カット原画	堂本尚郎	上段	1976年4月号	目次(部分)		コラージュ	
130			中段	1982年2月号	目次(部分)		鉛筆	
131			下段	1984年9月号	目次(部分)		ボールペン、墨	
132	カット原画	堂本尚郎	上段左	1976年4月号	294頁	井上光晴「〈心優しき叛逆者たち 第二部〉冬宮の死滅(二四)」	コラージュ、墨	
133			上段左から2番目	1976年4月号	35頁	日高六郎「腐敗の構造とは何か——ロッキード事件に思う——」	墨、鉛筆	
134			上段左から3番目	1976年4月号	43頁	稲葉三千男「戦後史のなかの類廃——『春日質問』の意味するもの——」	墨、鉛筆	
135			中段左	1982年2月号	278頁	石垣綾子「自伝 流れと足跡(第九回)」	墨、鉛筆	
136			中段左から2番目	1982年2月号	167頁	T・K生「光は消えない——韓国からの通信」	墨	
137			下段左	1984年9月号	扉		墨、ペン、墨	
138			下段左から2番目	1984年9月号	19頁	金石範「『朝鮮』と教科書検定の観点」	墨、ペン、墨	
No.	種別	作者名	作品名	制作年	技法・材質	備考		
139	絵画	堂本尚郎	連鎖反応 青・赤	1983年	カンヴァス、油彩、アクリル			
No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考
140	カット原画	碓伊之助	上段左	1949年12月号	65頁	真船豊「たつのおとしご——ファルス——」	ペン、インク	
141			上段左から2番目	1956年4月号	76頁	渡邊誠毅「ビキニからビキニまで」	墨、ペン、インク	
142			上段左から3番目	1963年8月号	196頁	野間宏「創造を通して連帯を——知識人の責任と連帯——」	フェルトペン、鉛筆	
143			下段左	1954年12月号	262頁	井伏鱒二「病中所見」	ペン、インク	
144			下段左から2番目、上	1954年2月号	148頁	福田敏一「偏見からの自由と報道への権利(二)——ファシズムとの闘争について」	墨	
145			下段左から2番目、下	1954年2月号	85頁	畑中政春「新局面に立つ日本の平和運動——平和活動家の手記上——」	墨	
146			下段左から3番目	1952年12月号	21頁	山川均「対決の時は開始された——再軍備反対の統一戦線へ——」	墨	
147	カット原画	碓伊之助		1950年1月号	135頁	野上弥生子「橋——『迷路』第三部(六)——」	ペン、インク	
148	カット原画	碓伊之助	左	1956年7月号	201頁	伊藤整「創作と批評の論理」	ペン、墨	
149			右	1956年7月号	191頁	大島康正「ある日の経験——大衆藝能は生きている——」	ペン、墨	
150	カット原画	中村研一	左	1960年3月号	扉		墨、ペン、墨	
151			上段左	1959年6月号	350頁	高見順「ある秘密」	墨、ペン、墨	
152			上段左から2番目	1953年10月号	4頁	大内兵衛「再びあの道を繰り返すな——MSAと日本経済——」	墨、ペン、墨	
153			下段左	1957年10月号	177頁	南原繁「人類の運命はこの一つに懸っている」	墨、ペン、墨	
154	下段左から2番目	1955年10月号	98頁	曾禰益「平和体制の理想と現実」	ペン、墨			
155	カット原画	中村研一	左	1955年10月号	206頁	五所平之助、高峰秀子、河盛好蔵、飯沢匡「〈座談会〉「フレンチ・カンカン」と「エデンの東」」	ペン、墨	
156			右上段	1960年11月号	246頁	オットー・ネイサン「大統領選挙とアメリカ経済」	ペン、墨	
157			右下段	1955年10月号	157頁	山川均、荒畑寒村、隅谷三喜男、林茂、編集部 吉野源三郎「日本における自由のための闘い 堺枯川」(座談会)	ペン、墨	

No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考
158	カット原画	真鍋博	左	1974年1月号	294頁	真鍋博「〈ルポルタージュ〉元祖・人間性都市を行く―買物公園にみるコミュニティづくり」	コラージュ、スクリーントーン、墨、ペン、インク、ホワイト	
159		儀間比呂志	右	1985年6月号	目次		墨、ポスターカラー	
160	カット原画	長沢節		1955年7月号	152頁	野上弥生子「〈一九五五年〉メーデー見たままの記」	墨、ペン、墨	
161	カット原画	長沢節	上段左	1955年1月号	131頁	石母田正「日本文化についての提案2 われわれのための遺産」	墨、ペン、墨	
162			上段左から2番目	1957年1月号	191頁	奥野保男「イスラエルという国」	ペン、墨	
163			中段左	1957年7月号	176頁	城戸又一「座談会の後に」	ペン、墨	
164			中段左から2番目	1958年8月号	111頁	アンドルー・ロス「アルジェリア陰謀の内幕」	墨、ペン、墨	
165			下段左	1961年4月号	218頁	今村太平「記録映画の世界―知られざる映画の数ター」	墨	
166			下段左から2番目	1962年6月号	178頁	田中良「アルジェリア 平和の条件」	墨、ペン、墨	
167	カット原画	司修	上段左	1981年11月号	扉		コラージュ	
168			上段左から2番目	1982年11月号	334頁	吉村昭「長編小説 破獄（第六回）」	コラージュ、ペン、インク	
169			下段	1984年12月号	目次		ポスターカラー、コラージュ	
170	カット原画	野見山暁治	上段左	1981年12月号	351頁	中野孝次「〈長編小説〉逆流（第十二回）」	ペン、墨	
171			下段左	1982年6月号	157頁	金時鐘「光州詩片」	ペン、墨	
172			上段左から2番目	1982年12月号	337頁	吉村昭「長編小説 破獄（第七回）」	ペン、墨、鉛筆	
173			下段左から2番目	1983年3月号	346頁	吉村昭「長編小説 破獄（第十回）」	ペン、墨	
No.			種別	作者名	作品名	制作年	技法・材質	備考
174	絵画	野見山暁治	約束してた	2014年	カンヴァス、油彩			
No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考
175	カット原画	小磯良平	上段左	1966年8月号	目次		ペン、墨	
176			上段右	1966年8月号	310頁	井上靖「わだつみ（第八回）」	ペン、墨	
177			下段	1968年8月号	目次（部分）		墨、ペン、墨	
178	カット原画	小磯良平		1976年1月号	扉		鉛筆	
179	カット原画	小磯良平		1968年8月号	扉		スクリーントーン、ペン、墨	
180	カット原画	池田満寿夫	上段左	1976年6月号	扉		ペン、インク	
181			上段左から2番目	1976年6月号	300頁	飯島耕一「マラルメの蒼空」	ペン、インク	
182			上段左から3番目	1976年6月号	191頁	押田勇雄「エネルギーは不足しているか―新エネルギー開発への期待と危機―」	ペン、インク	
183			上段左から4番目	1976年6月号	267頁	後藤昌次郎「現代捜査論―日石・土田邸事件を中心に―」	ペン、インク	
184			上段左から5番目	1976年6月号	307頁	野間宏「狭山裁判―連載第17回 差別捜査再論（II）」	ペン、インク	
185			下段左	1968年9月号	264頁	中村真一郎「頼家の人々（三）」	コラージュ、墨、ペン、インク、インスタントレタリング	
186			下段左から2番目	1968年9月号	扉		コラージュ、墨、ペン、インク	
187			下段左から3番目	1968年9月号	85頁	穴戸寛「都市攻勢と人民戦争の論理」	コラージュ、墨、ペン、インク	
188			下段左から4番目	1968年9月号	73頁	荒瀬豊、岡安茂祐「核アレルギー」と「安保公害」―シンボル操作・一九六八年―	コラージュ、墨、ペン、インク	
189	カット原画	関根伸夫	上段左	1982年6月号	扉		スクリーントーン、ボールペン	
190			右へ、上段	1982年6月号	263頁	大岡昇平、壺谷雄高「〈連載対談〉第六回 二つの同時代史―子ども殺しと監獄体験―」	スクリーントーン、ボールペン	
191			右へ、上段	1982年7月号	38頁	浦山桐郎「平和の映像の教師たち」	スクリーントーン、ボールペン	
192			右へ、下段	1982年6月号	209頁	高岡雄「シレーン防衛論」の危険性」	スクリーントーン、ボールペン	
193			右へ、下段	1982年7月号	119頁	伊藤成彦「反核―その壁と課題 ―ヨーロッパと日本―」	スクリーントーン、ボールペン	
194			下段	1990年4月号	目次(部分)		墨、ボールペン	
195			カット原画	加納光於	上段左	1977年7月号	172頁	大江健三郎、山口昌男、高橋康也、渡辺守章、鈴木志志、大岡信、磯崎新、武満徹、一柳慧、東野芳明、吉田喜重、井上ひさし「討論 文化の活性化を求めて」
196	上段左から2番目	1982年8月号			306頁	井上光晴「〈少年と大人のための文学・二十の掌篇小説⑥〉 少年よ大志を抱け」	エンコスティック、エッチング	
197	上段左から3番目	1983年9月号			310頁	井上光晴「〈少年と大人のための文学⑨〉 にくてんの秋」	エッチング	
198	下段左	1983年2月号			341頁	吉村昭「長編小説 破獄（第九回）」	エッチング	
199	下段左から2番目	1982年9月号			312頁	井上光晴「〈少年と大人のための文学・二十の掌篇小説⑦〉 飛車・角落ち」	エッチング	
200	下段左から3番目	1983年10月号			282頁	井上光晴「〈少年と大人のための文学⑩〉 何でも相談室」	エッチング	
No.	種別	作者名	作品名	制作年	技法・材質	備考		
201	絵画	加納光於	旅と種子とI	1983年	カンヴァス、油彩			
No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考
202	カット原画	飯田善國	左	1978年3月号	扉		フェルトペン	
203			左から2番目	1978年3月号	128頁	越後和典「繊維産業―その病弊と蘇生策」	フェルトペン	
204			左	1978年3月号	345頁	飯田善國「漂流する精神―方向索定器としての彫刻―」	フェルトペン	
205	左から2番目	1978年3月号	74頁	久場政彦「沖縄経済再建論―不安の底辺にあって」	フェルトペン			
No.	種別	作者名	作品名	制作年	技法・材質	備考		
206	彫刻	飯田善國	JUICHIMENTAI No.1 デッサン No.1	1981年	方眼紙、油性インク、鉛筆、インスタントレタリング			
No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考
207	カット原画	荻須高徳	上段左	1953年2月号	扉		ペン、墨	
208			上段左から2番目	1953年5月号	304頁	野上弥生子「墜落―迷路第五部（四）―」	ペン、墨	
209			下段左、上	1955年1月号	目次		ペン、墨	
210			下段右	1955年3月号	目次		墨、ペン、墨	
211			下段左、下	1953年4月号	目次		ペン、墨	
212			カット原画	海老原喜之助	上段左	1955年10月号	80頁	笠信太郎「自由な旅行」
213	上段左から2番目	1955年11月号			161頁	小原正雄「ティーンエイジャー―青春の明暗―」	ペン、墨	
214	上段左から3番目	1956年2月号			10頁	「世界の潮」	ペン、墨	

No.	種別	作者名	パネル内配置	カット原画掲載号	掲載頁	寄稿者および寄稿タイトル、討論企画などの話者および企画タイトル	技法・材質	備考
215	カット原画	海老原喜之助	下段左	1961年7月号	42頁	日高六郎、清水慎三「対談」国民体験は生きている—安保闘争一年後の課題—	ペン、墨	
216			下段左から2番目	1956年3月号	126頁	遠藤三郎「軍人の見た新中国—毛政権の将来と侵略の可能性—」	墨、ペン、墨	
217	カット原画	伊勢正義	左	1950年3月号	109頁	岸田國士「稚茸と雄辯」	ペン、墨	
218			上段左	1976年3月号	107頁	浜内謙「権力について—現代社会主義の省察・その二—」	ペン、墨	
219			上段左から右へ	1976年3月号	150頁	西川潤「北朝鮮の経済発展（II）」	墨、ペン、墨	
220			上段左から右へ	1976年3月号	244頁	脇村義太郎「『貧乏物語』前後—河内肇先生逝去三十周年を記念して—」	ペン、墨	
221			上段左から右下へ	1973年7月号	191頁	川口弘一「米国にもち込まれたベトナム戦争—エスタブリッシュメントの解体とウォーターゲート事件—」	墨、ペン、墨	
222			上段左から右下へ	1973年7月号	100頁	犬童一男「外交の民主化と『国益』」	ペン、インク	
223			下段左	1976年3月号	291頁	河合秀和「ある書評の書評」	墨、ペン、墨	
224			下段右	1950年3月号	90頁	徳永直「小説 村にきた文工隊」	墨、ペン、墨	
225	カット原画	加山又造	上段左	1958年1月号	290頁	廣津和郎「裁判と国民」	墨、クレヨン、鉛筆	
226			上段左から2番目	1958年1月号	344頁	火野葦平「青春の岐路（一）」	ペン、墨	
227			上段左から3番目	1958年1月号	48頁	辻清明「現代日本の政治状況」	墨、クレヨン、雲母（きら）	
228			中段左	1958年5月号	342頁	武田泰淳「森と湖のまつり（完結篇）」	ペン、墨	
229			中段左から2番目	1958年5月号	36頁	F・L・シューマン「世界はいくつに分かれるか」	ペン、墨	
230			中段左から3番目	1958年5月号	85頁	入江通雅「重き扉ひらくか—米ソ文化交流協定の成立—」	墨、クレヨン	
231			中段左から4番目	1958年5月号	45頁	海野稔「欧州にひろがる核武装反対運動—ヨーロッパ中立主義の動向—」	墨	
232			下段	1958年2月号	目次		墨	
233	カット原画	加山又造	左	1958年5月号	329頁	火野葦平「青春の岐路（第五回）」	ペン、墨	
234			右へ、上段	1958年2月号	225頁	火野葦平「青春の岐路（二）」	墨、クレヨン	
235			右へ、上段	1958年2月号	42頁	オットー・ネイスン「米国における不況対策の見とおし」	墨、ペン、墨	
236			右へ、下段	1958年5月号	321頁	井上靖「幽鬼」	墨、ペン、墨	
237	カット原画	宇佐美圭司	上段左	1978年2月号	扉		ペン、インク、色鉛筆	
238			上段左から2番目	1979年2月号	343頁	井上ひさし「下駄の上の卵（第一四回）」	ペン、インク、鉛筆	
239			上段左から3番目	1982年10月号	扉		ペン、インク、墨	
240			上段左から4番目	1983年2月号	14頁 ほか	「世界の潮」	ペン、インク、アクリル絵具	
241			中段左	1983年8月号	351頁	吉村昭「長編小説 破獄（第十五回）」	ペン、インク、墨	
242			中段左から2番目	1987年3月号	扉		墨、ペン、インク	
243			中段左から3番目	1987年3月号	10頁		ペン、インク	
244			中段左から4番目	1989年12月号	183頁	犬養道子「犬養道子の字引 第八回 一九八九年・水と森」	ペン、インク、墨	
245			下段	1982年10月号	目次		ペン、インク、墨	
246	カット原画	宇佐美圭司	左、上	1976年6月号	120頁	金日成「[会見記録] 朝鮮の平和と統一」	鉛筆、色鉛筆	
247			左、上から2番目	1976年6月号	120頁	山本満「日本社会党の国際認識—「中立」理念の腐蝕を憂える—」	鉛筆、色鉛筆	
248			左、上から3番目	1976年6月号	120頁	木田元「構造主義と人間主義」	鉛筆、色鉛筆	
249			右へ、上段左	1976年2月号	240頁	大江健三郎、谷川俊太郎、山口昌男「〈座談会〉現代世界と文学表現」	鉛筆	
250			右へ、上段左から2番目	1984年3月号	282頁	花崎卓平「田中正造の思想（上）」	ペン、インク	
251			右へ、下段	1979年8月号	365頁	井上光晴「〈心優しき叛逆者たち 第三部〉 地下水道（第七回）」	ペン、インク、鉛筆	
No.	種別	作者名	作品名	制作年			技法・材質	備考
252	版画	武満徹、宇佐美圭司	時間の園丁	1996年			武満徹：自筆楽譜のエッチング 宇佐美圭司：雁皮紙、リトグラフ	個人蔵

『暮らしの手帖』						
●序章 『暮らしの手帖』前史 一九四五年～一九四八年——衣装研究所の時代						
No.	作者	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
1	花森安治	表紙原画『スタイルブック 1946夏』 ※1946年5月31日発行号	1946年	紙、ペン、ポスターカラー	31.5×22.0	
2	花森安治	版下『スタイルブック 1946夏』(8・9頁) ※1946年5月31日発行号	1946年	紙、ペン、インク、ポスターカラー		
3	花森安治	表紙原画『スタイルブック 1947冬』 ※1946年11月25日発行号	1947年	紙、ポスターカラー	31.5×22.0	
4	花森安治	版下『スタイルブック 1947冬』(4・5頁) ※1946年11月25日発行号	1946年	紙、ペン、インク、墨、ポスターカラー		
No.	作者	資料名	パネル内配置：掲載号、掲載記事詳細	制作年	技法・材質	備考
5	花森安治	カット原画 『衣装』第巻号(1948年)掲載	上：『衣装』1948年(創刊号)表紙	1948年	紙、ペン、インク	
6			下：『衣装』1948年(創刊号)大橋鏡子「アメリカの直線裁ち」p.4-5	1948年	紙、ペン、インク、墨	
No.	作者	資料名		撮影年		備考
7	—	写真パネル 編集部の花森安治		1972年		提供：暮らしの手帖社
展示ケース内資料						
No.	作者	資料名	発行年月日	発行元		備考
8	—	『婦人の生活 第一冊』	1940年12月5日	生活社		
9	—	『スタイルブック 1946夏』	1946年5月31日	衣装研究所		
10	—	『衣装』第巻号(創刊号)	1948年1月30日	衣装研究所		
11	—	『美しい暮らしの手帖』1世紀1号(創刊号)	1948年9月20日	衣装研究所		
12	—	『暮らしの手帖』1世紀44号	1958年5月5日	暮らしの手帖社		
13	—	『暮らしの手帖』1世紀96号	1968年8月1日	暮らしの手帖社		
14	—	『暮らしの手帖』1世紀100号	1969年4月1日	暮らしの手帖社		
15	—	『暮らしの手帖』2世紀1号	1969年7月1日	暮らしの手帖社		
16	—	『美しい暮らしの手帖』2世紀52号	1978年2月1日	暮らしの手帖社		
●第1章 『暮らしの手帖』第一期 一九四八年～一九五四年——暮らしに工夫を						
No.	作者	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
18	花森安治	表紙原画『美しい暮らしの手帖』(1世紀1号)★前期展示(8/5～9/16) ※1948年9月20日発行号	1948年	紙、水彩	25.3×17.8	
19	花森安治	表紙原画『美しい暮らしの手帖』(1世紀3号)★後期展示(9/17～11/19) ※1949年4月1日発行号	1948年	紙、水彩	25.9×18.3	
20	花森安治	表紙原画『美しい暮らしの手帖』(1世紀2号)★前期展示(8/5～9/16) ※1949年1月1日発行号	1948年	紙、水彩	24.9×18.0	
21	花森安治	表紙原画『美しい暮らしの手帖』(1世紀5号)★後期展示(9/17～11/19) ※1949年10月1日発行号	1949年	紙、水彩	26.9×19.0	
22	花森安治	表紙原画『美しい暮らしの手帖』(1世紀19号)★前期展示(8/5～9/16) ※1953年3月1日発行号	1953年	紙、鉛筆、色鉛筆、オイルパステル、スクラッチ	25.2×18.9	
23	花森安治	表紙原画『美しい暮らしの手帖』(1世紀20号)★後期展示(9/17～11/19) ※1953年6月5日発行号	1953年	紙、鉛筆、オイルパステル	25.8×18.3	
No.	作者	資料名				備考
24	—	誌面紹介 1世紀1号「直線裁ちのデザイン」 ※1948年9月20日発行号				提供：暮らしの手帖社
25	—	誌面紹介 1世紀25号「キッチンの研究」 ※1954年9月1日発行号				提供：暮らしの手帖社
No.	作者	資料名	パネル内配置：掲載記事詳細	技法・材質		備考
26	花森安治	カット原画 『美しい暮らしの手帖』1世紀1号(1948年)掲載	右から1列目上：佐多稲子「色彩」p.30	紙、墨、ホワイト		
27			右から1列目中：小堀杏奴「女の暮らし」p.31	紙、ペン、インク		
28			右から1列目下：扇谷正造「背廣」p.33	紙、ペン、インク		
29			右から2列目上：中里恒子「和服と洋服」p.36	紙、ペン、インク		
30			右から2列目中：兼常清佐「たべものこと すまいのこと」p.37	紙、墨、ホワイト		
31			右から2列目下：森田たま「秋袷」p.39	紙、ペン、インク		
32			右から3列目上：田宮虎彦「地獄極楽」p.47	紙、墨、ペン、インク		
33			右から3列目中：片山廣子「乾あんず」p.43	紙、墨、ペン、インク		
34			右から3列目下：川端康成「小説 足袋」p.44	紙、墨、ペン、インク		
35			右から4列目上：宇野智子「きれち」p.45	紙、墨、ペン、インク		
36			右から4列目中：坂西志保「アメリカの暮らしと日本の暮らし」p.47	紙、ペン、インク、墨		
37			右から4列目下：土岐善磨「衣食住小記」p.49	紙、ペン、インク		
38			右から1列目上：和田實枝子「きるもの」p.51	紙、ペン、インク		
39			右から1列目中：山本嘉次郎「新しい星よりも」p.53	紙、ペン、インク		
40			右から1列目下：川島四郎「お砂糖」p.55	紙、墨、ペン、インク		
41			右から2列目上：中原淳一「真の美しさ」p.57	紙、ペン、インク		
42			右から2列目中：P・キャリッシュャー「日本婦人のしつけ」p.58	紙、墨、ペン、インク		
43	右から2列目下：戸塚康二「歌舞伎ダイジェスト すけろく」p.61	紙、墨、ペン、インク、ホワイト				
44	右から3列目上：牛山喜久子「お化粧品」p.74	紙、ペン、インク				
45	右から3列目中：戸袋タマ「アイロンのかけ方」p.76	紙、ペン、インク				
46	右から3列目下：戸袋タマ「アイロンのかけ方 スカートのかけ方」p.78	紙、ペン、インク、墨				
47	右から4列目上：秋山初枝「茶の間の手帖」p.79	紙、ペン、インク、墨				

No.	資料名	パネル内配置：掲載記事詳細	技法・材質	備考		
48	花森安治 カット原画 『美しい暮しの手帖』1世紀1号(1948年)掲載	右から4列目中：花森安治「服飾の読本 首かざりは肌につけるもの」p.94	紙、ペン、インク			
49		右から4列目下：花森安治「服飾の読本 やぼつたいデザインは」p.90	紙、ペン、インク、墨			
50		右から5列目上：大畑嘉一郎「コドモのあぶない病気」p.82	紙、墨、ペン、インク			
51		右から5列目中：花森安治「服飾の読本 パツドは入れた方がいいか」p.91	紙、ペン、インク			
52		右から5列目下：花森安治「服飾の読本 身だしなみに大切な三つのこと」p.92	紙、ペン、インク、墨			
53	花森安治 カット原画 『美しい暮しの手帖』1世紀1号(1948年)掲載	右上の右：新城圭子「コロちゃんotteディくん コロちゃんの作り方」p.23	紙、ペン、インク			
54		右上の左：新城圭子「コロちゃんotteディくん テッディくんの作り方」p.23	紙、ペン、インク			
55		右下：大橋鎮子「直線裁ち」p.86	紙、ペン、インク、墨			
56		左：大橋鎮子「直線裁ち」p.87	紙、ペン、インク、墨			
<b>●第2章 『暮しの手帖』第二期 一九五四年～一九六九年——商品テスト／日本人の暮し</b>						
No.	作者	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
57	花森安治	表紙原画『暮しの手帖』(1世紀26号)★前期展示(8/5～9/16) ※1954年12月1日発行号	1954年	紙、オイルパステル、グワッシュ、スクラッチ	25.6×18.2	
58	花森安治	表紙原画『暮しの手帖』(1世紀30号)★後期展示(9/17～11/19) ※1955年7月5日発行号	1955年	紙、鉛筆、オイルパステル、スクラッチ	25.7×18.2	
59	花森安治	表紙原画『暮しの手帖』(1世紀37号)★前期展示(8/5～9/16) ※1956年12月5日発行号	1956年	紙、色鉛筆、水彩	25.7×18.3	
60	花森安治	表紙原画『暮しの手帖』(1世紀40号)★後期展示(9/17～11/19) ※1957年7月5日発行号	1957年	カンヴァスボード、鉛筆、グワッシュ	25.2×18.2	
No.	作者	資料名				備考
61	—	誌面紹介 1世紀49号「9人の画家がえらんだクレヨンとパスの色」 ※1959年5月5日発行号				提供：暮しの手帖社
62	—	誌面紹介 1世紀99号「自動トースターをテストする」 ※1969年2月1日発行号				提供：暮しの手帖社
No.	作者	資料名	パネル内配置：掲載記事詳細	技法・材質	備考	
63	花森安治 カット原画 『美しい暮しの手帖』1世紀21～25号(1953～54年)掲載	右上：1世紀21号 目次	紙、墨			
64		右下：1世紀22号 目次	紙、墨			
65		左上：1世紀25号 目次	紙、墨			
66		左中：1世紀24号 目次	紙、墨			
67		左下：1世紀23号 目次	紙、墨			
68	花森安治 カット原画 『暮しの手帖』1世紀26～90号(1954～67年)掲載	上段右から1列目：1世紀26号 目次	紙、ペン、インク			
69		上段右から2列目上下：1世紀39号 目次	紙、ペン、インク、墨、ホワイト			
70		上段右から3列目上下：1世紀43号 目次	紙、ペン、インク			
71		下段右から1列目：1世紀29号 目次	紙、ペン、インク、墨、ホワイト			
72		下段右から2列目：1世紀90号 目次★もう1枚とセット	紙、ペン、墨			
73		下段右から3列目：1世紀90号 目次	紙、ペン、インク			
74		右はし：ふるさとのことば 題字 p.114	紙、鉛筆			
75	上段右から1番目：中村貞女「夜寒」p.114	紙、ペン、墨				
76	上段右から2番目：尾崎士郎「だちやかん」p.115	紙、ペン、墨				
77	上段右から3番目：きだみのる「オカタは軍艦より怖い話」p.116	紙、ペン、墨				
78	上段右から4番目：室生犀星「金沢言葉集」p.117	紙、ペン、墨				
79	上段右から5番目：北島八穂「津軽言葉」p.118	紙、ペン、墨				
80	下段右から1番目：井伏鱒二「在所言葉」p.120	紙、ペン、墨				
81	下段右から2番目：久留島秀三郎「京都弁」p.121	紙、ペン、墨				
82	下段右から3番目：上林暁「土佐弁」p.122	紙、ペン、墨				
83	下段右から4番目：木村荘八「べえべえ言葉」p.125	紙、ペン、墨				
84	下段右から5番目：森三千代「伊勢ことば」p.124	紙、ペン、墨				
85	花森安治 カット原画 『暮しの手帖』1世紀26～59号(1954～61年)掲載	上段右から1番目：1世紀26号「ソックスをテストする」p.131	紙、ペン、インク			
86		上段右から2番目：1世紀26号「ソックスをテストする」p.131	紙、ペン、インク、墨			
87		上段右から3番目：1世紀27号「マッチをテストする」p.126	紙、ペン、インク、墨			
88		上段右から4番目：1世紀28号「鉛筆をテストする」p.141	紙、墨、ホワイト			
89		上段右から5番目：1世紀48号「電気トースターをテストする」p.118	紙、鉛筆			
90		下段右から1番目：1世紀55号「配線器具」p.112	紙、ペン、墨			
91		下段右から2番目上：1世紀59号「春来りなば冬遠からじ 石油ストーブ」p.212	紙、ペン、墨			
92		下段右から2番目下：1世紀59号「春来りなば冬遠からじ 石炭ストーブ」p.213	紙、ペン、墨			
93		下段右から3番目上：1世紀59号「春来りなば冬遠からじ 電気ストーブ」p.211	紙、ペン、墨			
94		下段右から3番目下：1世紀59号「春来りなば冬遠からじ ガスストーブ」p.210	紙、ペン、墨			
95		下段右から4番目上：1世紀59号「春来りなば冬遠からじ」p.211	紙、ペン、墨			
96		下段右から4番目下：1世紀59号「春来りなば冬遠からじ」p.210	紙、ペン、墨			

No.	資料名	パネル内配置：掲載記事詳細	技法・材質	備考
97	花森安治 カット原画 『暮しの手帖』1世紀57号(1960年)掲載	右から1列目上：1世紀57号「あけましておめでとうございますか」 p.131	紙、ペン、墨	
98		右から1列目下：1世紀57号「あけましておめでとうございますか」 p.133	紙、ペン、墨	
99		右から2列目上：1世紀57号「あけましておめでとうございますか」 p.138	紙、ペン、墨	
100		右から2列目下：1世紀57号「あけましておめでとうございますか」 p.135	紙、ペン、墨	
101		右から3列目上：1世紀57号「あけましておめでとうございますか」 p.134	紙、墨、ホワイト	
102		右から3列目下：1世紀57号「あけましておめでとうございますか」 p.137	紙、ペン、墨	
103		右から4列目上：1世紀57号 松田道雄「私の手帖」 p.122	紙、鉛筆	
104		右から4列目下：1世紀57号 松田道雄「私の手帖」 p.124	紙、ペン、墨	
105		右から5列目上：1世紀57号 松田道雄「私の手帖」 p.126	紙、ペン、墨	
106		右から5列目中：1世紀57号 松田道雄「私の手帖」 p.127	紙、ペン、墨	
107	右から5列目下：1世紀57号 松田道雄「私の手帖」 p.125	紙、ペン、墨		
108	花森安治 カット原画 『暮しの手帖』1世紀58号(1961年)掲載	右から1列目：1世紀58号 茅誠司・中谷宇吉郎・堀義郎「せまいながらもたのしい地球」 p.77	紙、ペン、インク、墨	
109		右から2列目上：1世紀58号 茅誠司・中谷宇吉郎・堀義郎「せまいながらもたのしい地球 大臣閣下、小麦の合成に成功しました。〔…〕」 p.86	紙、ペン、インク	
110		右から2列目下：1世紀58号 茅誠司・中谷宇吉郎・堀義郎「せまいながらもたのしい地球 インタナショナルのオートリオ」 p.91	紙、ペン、インク、墨	
111		右から3列目上：1世紀58号 茅誠司・中谷宇吉郎・堀義郎「せまいながらもたのしい地球 台風抑止隊全船団二告ぐ、〔…〕」 p.81	紙、ペン、インク、墨	
112		右から3列目下：1世紀58号 茅誠司・中谷宇吉郎・堀義郎「せまいながらもたのしい地球 臨時ニュース・・・天然ガス試験船ハ本日有力な源ヲ発見〔…〕」	紙、ペン、インク	
113	花森安治 カット原画 『暮しの手帖』1世紀58～98号(1961～68年)掲載	上段右から1番目：1世紀58号「エプロンメモ」 p.94	紙、ペン、インク、墨	
114		上段右から2番目：1世紀62号「エプロンメモ」 p.93	紙、ペン、インク、墨、ホワイト	
115		上段右から3番目：1世紀72号「エプロンメモ」 p.101	紙、ペン、インク、鉛筆	
116		上段右から4番目：1世紀98号「エプロンメモ」 p.118	紙、ペン、インク	
117		上段右から5番目：1世紀69号「エプロンメモ」 p.93	紙、ペン、インク	
118		上段右から6番目：1世紀69号「エプロンメモ」 p.93-95	紙、ペン、インク	
119		下段右から1番目：1世紀61号「エプロンメモ」 p.100-101	紙、ペン、インク、鉛筆	
120		下段右から2番目：1世紀69号「エプロンメモ」ほか p.93-109	紙、ペン、インク	
121		下段右から3番目：1世紀69号「エプロンメモ」 p.116-117	紙、ペン、インク	

●第3章 『暮しの手帖』第三期 一九六九年～一九七八年——社会の矛盾へ

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
122	花森安治	表紙原画『暮しの手帖』(2世紀1号) ※1969年7月1日発行号	1969年	紙、ポスターカラー	57.0×43.0	
123	花森安治	表紙原画『暮しの手帖』(2世紀6号)★前期展示(8/5～9/16) ※1970年6月1日発行号	1970年	ボード、インク、グワッシュ	34.0×25.5	
124	花森安治	表紙原画『暮しの手帖』(2世紀7号)★後期展示(9/17～11/19) ※1970年8月1日発行号	1970年	ボード、インク、水彩	34.5×25.7	
125	花森安治	表紙原画『暮しの手帖』(2世紀12号)★前期展示(8/5～9/16) ※1971年6月1日発行号	1971年	ボード、水彩、インク、インスタントレタリング	48.5×36.5	
126	花森安治	表紙原画『暮しの手帖』(2世紀21号)★後期展示(9/17～11/19) ※1972年12月1日発行号	1972年	ボード、色鉛筆、インク、水彩	48.0×36.5	
127	花森安治	表紙原画『暮しの手帖』(2世紀34号)★前期展示(8/5～9/16) ※1975年2月1日発行号	1975年	ボード、鉛筆、アクリル	48.5×36.0	
128	花森安治	表紙原画『暮しの手帖』(2世紀38号)★後期展示(9/17～11/19) ※1975年10月1日発行号	1975年	ボード、アクリル、オイルパステル	49.5×37.0	
129	花森安治	表紙原画『暮しの手帖』(2世紀51号)★前期展示(8/5～9/16) ※1977年12月1日発行号	1977年	ボード、オイルパステル、スクラッチ	49.0×36.5	
130	花森安治	表紙原画『暮しの手帖』(2世紀52号)★後期展示(9/17～11/19) ※1978年2月1日発行号	1978年	ボード、アクリル、オイルパステル、スクラッチ	49.0×36.5	

No.	作者	資料名	備考
131	—	誌面紹介 2世紀16号「みなさん物をたいせつに」(1972年2月1日発行号)	提供：暮しの手帖社
132	—	誌面紹介 2世紀44号「ぼくは、もう、投票しない」(1976年10月1日発行号)	提供：暮しの手帖社

No.	作者	資料名	パネル内配置：掲載記事詳細	技法・材質	備考
133	花森安治 カット原画 『暮しの手帖』2世紀23～42号(1953～54年)掲載	上段右から1番目：2世紀23号 近藤駿四郎「脳卒中も手術で治る可能性がある」 p.193	紙、ペン、インク		
134		上段右から2番目：2世紀23号 近藤駿四郎「脳卒中も手術で治る可能性がある」 p.194	紙、ペン、インク		
135		上段右から3番目：2世紀23号 近藤駿四郎「脳卒中も手術で治る可能性がある」 p.197	紙、ペン、インク		
136		上段右から4番目：2世紀23号 近藤駿四郎「脳卒中も手術で治る可能性がある」 p.198	紙、ペン、インク		
137		上段右から5番目：2世紀23号 近藤駿四郎「脳卒中も手術で治る可能性がある」 p.201	紙、ペン、インク		
138		上段右から6番目：2世紀23号 近藤駿四郎「脳卒中も手術で治る可能性がある」 p.202	紙、ペン、インク		
139		上段右から7番目：2世紀23号 近藤駿四郎「脳卒中も手術で治る可能性がある」 p.205	紙、ペン、インク		
140		中段右から1番目：2世紀25号 福山幸夫「ちいさい子のでんかんは不治の病ではない」 p.153	紙、ペン、墨		
141		中段右から2番目：2世紀25号 福山幸夫「ちいさい子のでんかんは不治の病ではない」 p.155	紙、ペン、墨		
142		中段右から3番目：2世紀25号 福山幸夫「ちいさい子のでんかんは不治の病ではない」 p.156	紙、ペン、墨		
143		中段右から4番目：2世紀25号 福山幸夫「ちいさい子のでんかんは不治の病ではない」 p.159	紙、ペン、墨		
144		中段右から5番目：2世紀25号 福山幸夫「ちいさい子のでんかんは不治の病ではない」 p.160	紙、ペン、墨		
145		中段右から6番目：2世紀25号 福山幸夫「ちいさい子のでんかんは不治の病ではない」 p.163	紙、ペン、墨		
146		下段右から1番目：2世紀42号 佐々木智也「こわいリウマチ、こわくないリウマチ」 p.137	紙、鉛筆		



No.	作者名	資料名	パネル内配置：掲載記事詳細	技法・材質	備考	
147	花森安治	カット原画 『暮しの手帖』2世紀23～42号（1953～54年）掲載	下段右から2番目：2世紀42号 佐々木智也「こわいリウマチ、こわくないリウマチ」 p.138	紙、鉛筆		
148			下段右から3番目：2世紀42号 佐々木智也「こわいリウマチ、こわくないリウマチ」 p.141	紙、鉛筆		
149			下段右から4番目：2世紀42号 佐々木智也「こわいリウマチ、こわくないリウマチ」 p.143	紙、鉛筆		
150			下段右から5番目：2世紀42号 佐々木智也「こわいリウマチ、こわくないリウマチ」 p.145	紙、鉛筆		
151			下段右から6番目：2世紀42号 佐々木智也「こわいリウマチ、こわくないリウマチ」 p.147	紙、鉛筆		
152			下段右から7番目：2世紀42号 佐々木智也「こわいリウマチ、こわくないリウマチ」 p.148	紙、鉛筆		
153	花森安治	カット原画 『暮しの手帖』2世紀33号（1974年）掲載	右から1列目上から1番目：2世紀33号「野菜のよしあしを見わける にんじん」 p.24	紙、色鉛筆		
154			右から1列目上から2番目：2世紀33号「野菜のよしあしを見わける たまねぎ」 p.27	紙、色鉛筆、鉛筆		
155			右から1列目上から3番目：2世紀33号「野菜のよしあしを見わける トマト」 p.30	紙、色鉛筆		
156			右から1列目上から4番目：2世紀33号「野菜のよしあしを見わける さといも」 p.31	紙、鉛筆、色鉛筆		
157			右から2列目上：2世紀33号「野菜のよしあしを見わける」 p.22-31	紙、鉛筆		
158			右から2列目下：2世紀33号「野菜のよしあしを見わける はくさい」 p.28	紙、鉛筆、色鉛筆		
159			右から3列目上：2世紀33号「野菜のよしあしを見わける かぶ」 p.25	紙、鉛筆、色鉛筆		
160			右から3列目中：2世紀33号「野菜のよしあしを見わける ねぎ」 p.26	紙、鉛筆、色鉛筆		
161	右から3列目下：2世紀33号「野菜のよしあしを見わける だいこん」 p.23	紙、色鉛筆				
162	花森安治	カット原画 『暮しの手帖』2世紀41号（1976年）掲載	上段右から1番目：2世紀41号 花森安治「作りばなし たのしきナンキンマメ」 p.5	紙、鉛筆		
163			上段右から2番目：2世紀41号 花森安治「作りばなし たのしきナンキンマメ」 p.7	紙、ペン、セピアインク、水彩		
164			上段右から3番目：2世紀41号 花森安治「作りばなし たのしきナンキンマメ」 p.7	紙、ペン、セピアインク、水彩		
165			中段右から1番目：2世紀41号 花森安治「作りばなし たのしきナンキンマメ」 p.6	紙、ペン、セピアインク、水彩		
166			中段右から2番目：2世紀41号 花森安治「作りばなし たのしきナンキンマメ」 p.9	紙、ペン、セピアインク、水彩		
167			下段右から1番目：2世紀41号 花森安治「作りばなし たのしきナンキンマメ」 p.6	紙、ペン、セピアインク、水彩		
168			下段右から2番目：2世紀41号 花森安治「作りばなし たのしきナンキンマメ」 p.8	紙、ペン、セピアインク、水彩		
169	左はじ：2世紀41号 花森安治「作りばなし たのしきナンキンマメ」 p.10	紙、ペン、セピアインク、水彩				
170	花森安治	カット原画 『暮しの手帖』2世紀43号（1976年）掲載	上段右から1番目：2世紀43号 花森安治「八月十五日に捧げる 41年前に描かれた49枚の自画像」 p.5	紙、鉛筆		
171			上段右から2番目：2世紀43号 花森安治「八月十五日に捧げる 41年前に描かれた49枚の自画像 むかしの吉田小学校」 p.7	紙、鉛筆、墨		
172			上段右から3番目：2世紀43号 花森安治「八月十五日に捧げる 41年前に描かれた49枚の自画像 吉田町の風景」 p.13	紙、鉛筆、墨		
173			下段右から1番目：2世紀43号 花森安治「八月十五日に捧げる 41年前に描かれた49枚の自画像」 p.6	紙、鉛筆		
174			下段右から2番目：2世紀43号 花森安治「八月十五日に捧げる 41年前に描かれた49枚の自画像 吉田町の風景」 p.14	紙、鉛筆、墨		
175			下段右から3番目：2世紀43号 花森安治「八月十五日に捧げる 41年前に描かれた49枚の自画像 吉田町の風景」 p.18-19	紙、鉛筆、墨		
176	花森安治	カット原画 『暮しの手帖』2世紀52号（1978年）掲載	右から1列目上から1番目：2世紀52号「食前食後」 p.78	紙、ペン、インク、色鉛筆		
177			右から1列目上から2番目：2世紀52号「食前食後」 p.82	紙、ペン、インク、色鉛筆		
178			右から1列目上から3番目：2世紀52号「食前食後」 p.85	紙、鉛筆、ペン、インク		
179			右から2列目上：2世紀52号「食前食後」 p.80	紙、鉛筆、ペン、インク		
180			右から2列目下：2世紀52号 曾野綾子「美しい横顔の人」 p.134	紙、鉛筆		
181			右から3列目上：2世紀52号 花森安治「人間の手について」 p.103-109	紙、鉛筆		
182			右から3列目下：2世紀52号 花森安治「人間の手について」 p.102-106	紙、鉛筆		
<b>●終章 《一匁五厘の旗》を掲げて</b>						
No.	作者	作品名	制作年／撮影年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
183	花森安治	表紙原画『暮しの手帖』（2世紀53号）	1976年	カンヴァス、アクリル	45.5×37.5	
184	—	写真パネル 一匁五厘の旗	撮影年不詳	—	—	提供：暮しの手帖社
185	花森安治	一匁五厘の旗	1970年	布（パッチワーク）	80.0×116.0	

小コーナー展示 魯山人の支援者——塩田岩治と南莞爾

塩田岩治と魯山人

No.	作者名	作品名	制作年(西暦)	制作年(和暦)	技法・材質	寸法(高)	寸法(幅)	寸法(奥)	寸法(径)	備考
1	北大路魯山人	染付福字皿	1937年頃	昭和12年頃	磁器	2.8	-	-	21.2	塩田コレクション
2	北大路魯山人	染付福字皿	1937年頃	昭和12年頃	磁器	2	-	-	22	塩田コレクション
3	北大路魯山人	雲錦大鉢	1940年	昭和15年	陶器	22.5	46.8	33.6	-	塩田コレクション
4	北大路魯山人	織部ユノサハ銘湯呑 [5点1組]	1935-44年	昭和10年代	陶器	各6.5	-	-	各7.2	塩田コレクション
5	北大路魯山人	織部ユノサハ銘湯呑	1935-44年	昭和10年代	陶器	8.9	-	-	7.5	塩田コレクション
6	北大路魯山人	織部ユノサハ銘湯呑	1935-44年	昭和10年代	陶器	9	-	-	7.6	塩田コレクション
7	北大路魯山人	織部ユノサハ銘湯呑	1935-44年	昭和10年代	陶器	9	-	-	7.7	塩田コレクション
8	北大路魯山人	総織部灰皿	1935-44年	昭和10年代	陶器	6	-	-	16	塩田コレクション
9	北大路魯山人	染付竹文皿	1935-54年	昭和10-20年代	磁器	4.2	-	-	35.9	塩田コレクション
10	北大路魯山人	土釜「利根坊耳を作る」	1935-44年	昭和10年代	陶器	13.8	-	-	20.4	塩田コレクション
11	北大路魯山人	皮鯨茶碗	1935-54年	昭和10-20年代	陶器	6.6	-	-	13.4	塩田コレクション
12	北大路魯山人	志野香合「くづや」	1935-44年	昭和10年代	陶器	4.5	-	-	6.5	塩田コレクション
13	北大路魯山人	黄瀬戸香合	1935-54年	昭和10-20年代	陶器	2.8	-	-	6	塩田コレクション
14	北大路魯山人	清泉	不詳	不詳	木、胡粉	43.5	-	-	70	塩田コレクション

南莞爾と魯山人

No.	作者名	作品名	制作年(西暦)	制作年(和暦)	技法・材質	寸法(高)	寸法(幅)	寸法(奥)	寸法(径)	備考
15	北大路魯山人	椿荘	1931年頃	昭和6年頃	和紙、墨	33.5	86.7	-	-	-
16	北大路魯山人	阿弥陀仏線香立	1940年	昭和15年	磁器	13.1	-	-	7.5	

資料：塩田岩治関連

No.	著者名	資料名	発行年/発行日(西暦)	発行年/発行日(和暦)	発行元	備考
17		塩田岩治宛魯山人書簡	1940年12月15日	昭和15年12月15日		
18	塩田岩治	『地熱』	1953年初版/1954年再版	昭和28年/昭和29年	株式会社利根ボーリング刊	
19	塩田岩治	『日本における地熱発電と今までに成功せぬ理由』(研究整理No.1)	1960年	昭和35年		
20	塩田岩治	『地下の探求 その他 地下水、温泉などの30年(前)』(研究整理第2号)	1962年	昭和37年		
21	宮崎清治(道後温泉旅館協同組合理事長)	『道後温泉の近代化—内湯創設の記録』	1969年	昭和44年	株式会社宝荘ホテル刊	

資料：南莞爾関連

No.	著者名/作者名	資料名	発行年/発行日/制作年(西暦)	発行年/発行日/制作年(和暦)	発行元	備考
22	河路寅三(蝶公)	『海底撈月』(安田同人会誌)	1932年	昭和7年		個人蔵
23	北大路魯山人編	『學書参考墨蹟集』第一輯	1934年5月19日	昭和9年5月19日	発行兼印刷者 中村竹四郎 発行所 便利堂 発売所 木瓜書房)左から 蓮月、一茶、大雅	
24		『東京火災保険株式会社五十年誌』	1938年	昭和13年	東京火災保険株式会社刊	
25		『南莞爾 追悼録』	1968年	昭和43年	南莞爾氏追悼録刊行会刊	
26	南莞爾	『椿荘』表札				